



2020年1月21日

各 位

会 社 名 株式会社プレミアムウォーターホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 萩 尾 陽 平
(コード番号：2588 東証第二部)
問 合 せ 先 経営管理本部 財務経理部
(TEL 03-6864-0980)

2020年3月期12月度の月次概況（速報）
及び月次開示の終了に関するお知らせ

当社グループの主力事業である宅配水事業につきまして、2020年3月期12月度における新規契約件数、保有契約件数の月次概況（速報）を下記のとおりご報告いたします。また、2020年3月期3月度の月次概況（2020年4月発表分）でのご報告をもって、新規契約件数、保有契約件数の月次開示を終了させていただくことといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 新規契約件数

(単位：件)

2020年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	26,645	26,912	24,882	30,871	34,298	54,790
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	22,516	26,382	24,123			

2. 保有契約件数

(単位：件)

2020年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	825,145	841,734	853,586	869,004	891,645	933,993
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	944,726	959,848	968,270			

- (注) ・上記1及び2の数値は速報値に基づいて作成された概算数値であり、今後修正する可能性があります。
- ・「新規契約件数」は、当該月に新規お申込みを受け付けた件数（申込不備となった件数を除く）と新規でOEM供給を開始した件数の合算となります。
 - ・「保有契約件数」は、サービスのご利用を確認できるお客様の件数となります。尚、当社代理店及びOEM供給先のお客様を含みます。

3. 月次開示の終了について

当社グループの主力事業である宅配水事業の特徴は、投資回収型のストックビジネスモデルであります。このビジネスモデルにおいては、ウォーターサーバーの原価や、新規契約獲得に係る人件費等の獲得コストを先行して発生させ、この先行投資を、その後数年かけて天然水の定期配送による売上で回収を図ることを予定しております。

当社グループは、2016年7月1日付で実施した株式会社ウォーターダイレクトと株式会社エフエルシーとの経営統合を契機に、顧客基盤の拡充に向けて新規契約の獲得を積極的に推し進めた結果、2017年3月期及び2018年3月期の二期にわたって連結営業損益及び親会社株主に帰属する当期純損益はともに損失（赤字）を計上したものの、2019年3月期では、保有契約件数から得られる利益の増加により、連結営業損益及び親会社株主に帰属する当期純損益はともに利益（黒字）を計上するに至りました。

これまで、当社は、株主及び投資家をはじめとしたステークホルダーの皆さまには、この積極的な先行投資中の当社グループの成長の推移を迅速にお伝えする指標として、当社グループの重要業績評価指標の中から、当社グループの主力事業である宅配水事業の新規契約件数、保有契約件数を選択し、これらの月次概況を開示してまいりました。しかしながら、現在に至るまで顧客基盤の拡充が順調に進み、保有契約件数から得られる利益が獲得コスト等を十分かつ持続的に上回る体制にまで成長することができたこと、また、当社グループの保有契約の内訳等が多様的になり、新規契約件数及び保有契約件数のみでは利益面等の当社グループ収益に与える影響が読み取れず、かえって、皆さまの投資判断において誤解を招くおそれがあると判断しました。

つきましては、当社は、2021年3月期4月度の月次概況以降から、当社グループの宅配水事業における新規契約件数、保有契約件数の月次開示を終了させていただきます。なお、当社は、株主や投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様に公正で正確な会社情報を適切に伝達するため、開示義務が定められていない情報であっても、当社をより理解していただくために必要な情報については、可能な範囲内で適時かつ適切に開示するように努めてまいります。

以上